

《学位論文審査基準》

学位論文審査については、学位論文（主論文）と審査用論文の体裁（概要・図表・参考文献等）および倫理面についての配慮が適切であることを確認した上で、次に定める事項に基づき、公開学位論文審査会において厳正かつ公正に行われるものとする。

- ①研究の目的、背景の明確性
- ②計画・方法・結果の妥当性
- ③社会的意義
- ④独創性
- ⑤発表能力

【学位論文審査基準の内容】

- ① 研究の目的、背景の明確性：
研究テーマが明確で、論理性、先進性、発展性の観点から妥当であるか。
研究テーマと関連する研究領域の動向を調査し十分に把握しているか。
先行研究について深く理解するとともに的確な評価が行われているか。
- ② 計画・方法・結果の妥当性：
研究目的を達成するための方法論について正しく理解しているか。分析方法に合理性があり、分析結果に問題が無く、かつ十分な説得力を持っているか。
- ③ 社会的意義：
学術的意義を有し、社会に貢献する内容か。
その研究の発展性、将来の展望を説明できるか。
- ④ 独創性：
新しい発想に基づく研究であるか。
従来の研究と異なる斬新さがあるか。
- ⑤ 発表能力：
論文内容を明確かつ端的に発表でき、質疑応答に的確に対応できたか。
専門領域の先端的な知識を有するか。
論理展開に整合性があるか。
発表時間が適切か。